

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和4年度学校評価計画

達成度(評価)	
A	: 十分達成できている
B	: おおむね達成できている
C	: やや不十分である
D	: 不十分である

1 前年度 評価結果の概要	・1人1台端末の導入により、ICTを活用した授業改善が進み始めた。校内研修により、新学習指導要領に準じた評価方法の工夫・改善も行うことができた。来年度はさらに工夫・改善を進め、主体的・対話的で深い学びの実現を目指し、学力向上に努める必要がある。 ・学校行事が制限される状況においても、特別活動や道徳科において心の教育に関する取り組みを行うことができた。生徒間暴力やいじめの件数は増加しているため、今後も継続的・組織的な取り組みが必要である。 ・不登校対策として、校内の連携、各種専門家・外部機関との連携をとりながら取り組むことができた。しかし、不登校生徒数は増加しており、原因が分かりづらいなど困難な事例が増えているため、教育相談体制を見直し、取り組みの改善が必要である。
2 学校教育目標	『感動 感謝 思いやり』 ～ 関わり合い、支え合い、認め合う学校づくりをとおして ～
3 本年度の重点目標	① 主体的・対話的で深い学びの実現へ向けた授業改善を進める。 ② 豊かな心を育み、人間関係づくりを充実させ、生徒間トラブルを減少させる。 ③ 不登校対策を充実させる。

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	
---------------	------	--------	--

(1) 共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		
評価項目	取組内容	成果指標(数値目標)		進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践が主体的に学習に取り組めるよう授業を展開し、めあてやまとめ、振り返りの充実を図る。 ○朝の時間や授業の振り返りを生かした家庭学習の充実を通して、基礎・基本の定着を図る。	●生徒質問紙で、「授業に主体的に取り組んでいる」に肯定的な回答の生徒の割合80%以上。 ○生徒質問紙で「目標をもって家庭学習に取り組んでいる」に肯定的な回答の生徒の割合70%以上。	・教職員間でマイプランを共有するとともに、「授業づくりのステップ1・2・3 Vol.2」及び「唐津の学びスタイル」を基本とした授業づくりを推進する ・朝のドリルや各教科での振り返りを工夫するとともに、拂りの会で1日の学習の振り返りや、家庭学習の計画をたてるシートを工夫する。							
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動 ●いじめの早期発見、早期対応体制の充実 ◎自らの夢や目標の実現に向けて努力する気持ちを高める教育活動の推進	○学校評価の保護者および生徒アンケート「心の教育項目」達成率をそれぞれ80%以上 ○いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事案対応等)について組織的対応ができていると回答した教員90%以上 ◎自らの夢や目標の実現に向けて努力する気持ちがあると答える生徒90%以上。	・人権・同和教育を根幹におき、道徳教育や特別活動を充実させ、仲間づくりを推進し、豊かな心を育む教育を推進する。 ・日常の生徒観察や教育相談アンケート(心のとびら)を年10回実施し、事象の掘り起こしと生徒の心の変化の共通理解に努める。 ・全ての教科等、学校行事等を通して、夢や目標について自ら考えさせる時間や場面を設ける。							
●健康・体づくり	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」 ●「安全に関する資質・能力の育成」	●「健康に食事は大切である」と考える生徒80%以上 ●生徒の交通事故を0(ゼロ)にする	・毎日の給食時の放送で、食に関する様々なトピックスを紹介する。 ・交通安全教室の実施や職員と育友会や外部機関と連携しての登下校時の見守り活動を行う。							
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減 ○事務システムポータル及び校務システムの有効活用	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ○事務システムポータルを毎日3回チェックする職員100%	・定時退勤日の設定 ・学校閉庁日の設定 ・部活動休養日の設定 ・業務上の資料配布や事務的な連絡事項をシステム上で行い、システムを活用しなければならない必然的な環境を構築する。							

(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		
評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)		進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○	○教育相談運営体制の充実と不登校生徒への支援拡大	○昨年度より不登校生徒数を減少させることを目標とする。本項目は数値目標はそぐわない面もあるので、不登校対策委員会にて相互に質的評価を行う。	・SC、SSW、SSF等外部機関との連携を強化する。 ・ケース会議を工夫し有効な支援策を探る。							
○										
○										

5 総合評価・次年度への展望	●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育 ・ ・ ・
----------------	---------------------------------------